

農業ふれあい研修「出前授業」を行います

農業大学校は、これまで農業ふれあい研修として、園児や小学生等に農業大学校に来校いただき、牛舎の見学、牛のえさやり、野菜や花き等の栽培状況の見学、トラクタ・牛の写生などを通して農業に親しむ機会を提供してきました。

平成 29 年度から新たに、小学校の授業に農業大学校の技術系職員が出向き農業を教える「出前授業」の取組を開始しました。

第 1 回「出前授業」を開催しました

第 1 回「出前授業」は、岡崎市立六ツ美中部小学校 2 年生 38 名を対象に、夏野菜の苗の植え方を学ぶ実習を行いました。

児童が育てたい野菜を決め、地域の野菜苗農家から購入したミニトマト、ナス、ピーマン、大豆の苗を 1 年生の生活科の授業で使用した鉢に植えました。

鉢は、病気を防ぐため、洗って乾燥させて使用し、牛乳パックを活用して鉢のかさを増して土を入れ、野菜苗を植えました。

苗を植える時は、ポットの土より上まで土を被せず浅めに植えること、水やりの時間と量などのポイントについて話し、農業大学校の技術職員の見本を見ながら無事に各々の鉢に野菜苗を植えることができました。

農業大学校の技術職員が「よく観察して大切に育ててください。」と話すと、児童から「はい!!」と元気な返事があり、生き生きとした表情から自分の野菜を育てることへの興味・関心の高さを感じることができました。

今後は、1 ヶ月後頃に上手に育てるコツについて指導する方向で検討しています。

この取組により、小学生の野菜への関心が深まり、小学生のいる家庭の農業への理解の促進と愛知県の農産物の消費拡大に繋がることを望みます。



苗の植え方の話を真剣に聴く児童